

企画総務グループ打合せ（平成19年度 第2回）議題書（案）

- ・日 時：平成19年9月21日（金）9:30～12:00
- ・出席者：東畑幹事長、岸田副支部長、石井副幹事長、北本副幹事長、高橋、末政、王、高岡
- ・欠席者：荏本幹事

1. 委員の交代

- ・栗崎委員（電源開発株） 高岡 秀行 氏（電源開発株）
部署の異動により学会活動が困難になったため。

2. 企画総務G 前回議事録(6/20)の確認【別紙 - 1】

3. 進捗状況の報告

(1) 工法協会との交流会（北本副幹事長）

- ・8協会から申し込みがあった。資料は協会に準備していただく。参加費は1000円。（協会の方々は無料。）
- ・交流会の冒頭、北本副幹事長に趣旨を説明していただく。座長は北本副幹事長。コメントータとして専門家を呼ぶ（北本氏が選任する）。
- ・案内に時間延長があることを記載しておく。
- ・日程は11月19日（月）15:00～17:00

(2) 学校関係へのサービスの検討（荏本幹事）

- ・欠席のため報告なし。（後日、進捗状況を報告してもらう。）

(3) 出張講座（高橋幹事）

- ・簡単なメニューリスト作成を推進する。 HP にアップ
- ・メニューリストを持って出身母校に接触する。ソイルタワーコンテストのビデオも活用。

(4) 若手会員の会費減免・小規模会社向けの賛助会員（支部長発案）

- ・本部の支部部会で検討することになった。

(5) 広報活動：Newsletter・HP 運営・マスコミや官庁の窓口リスト整備（王幹事）

- ・Newsletter の用紙が厚いので送料が10円高い。 当面はこのままとする。

(6) 多摩川ウォークラリー（末政幹事）

- ・対象は地盤工学会会員に限定。一般市民は対象外とする。
- ・初めてなので手堅く実施したいので案1とする。昼食は持参にしてもらう。
- ・京浜工事事務所に協力を依頼する。（東畑先生から協力の依頼をお願いする。）
- ・日程は提案どおりに11月10日。解散時間は15時半とする。
- ・保険は必ず掛ける。（雨天の時の支払いについては事務局で調べる）
- ・名称は「GeoKanto in 多摩川」。

(7)「地盤技術者の英語」講座(高岡幹事)

- ・論文編集委員会との共催で、東畑先生に英語論文の書き方およびプレゼンテーションについてご講演していただく。(その後、共催ではなく支部単独の開催とし、東畑先生の肩書きに「会誌「論文報告集」担当理事」を加えることになった。日時は11月16日15:00-17:00)

(8)特別会員(関東地方整備局)向け出張講座の報告(石井副幹事長)

- ・国土交通省荒川下流河川事務所にて9月3日に行った。次の出張講座を依頼されている。
- ・メールなどで実績を特別会員に広く伝えて、その権利の行使を促す。

(9)損保関係の関係強化:まずは特別会員に講演してもらおう。

- ・新規委員会に特別会員の三井住友海上火災保険と損害保険ジャパンからメンバーを出していただくようお願いする。

(10)IS-Tokyo2008(TC33)第4回国際洗掘侵食会議

- ・1stアナウンスを行った。

(11)2009年全国大会

- ・会場は関東学院大学、開催時期は8月上旬。
- ・WGを名古屋大会(4名程度)と同様に設けたい。メンバー案は、東畑さん(東大)・規矩さん(関東学院大学)・早野さん(横国大)・田中さん(東亜建設工業)・宮田さん(防大)・港湾空港研究所(北詰さんに推薦してもらおう)。

(12)IS-Tokyo2009(TC4)

- ・会場は筑波に決まった。

(13)評議員会(10月15日開催)

- ・資料作成:活動報告と期末収支見通し(9月30日現在の収支計算書)の原案を石井副幹事長と事務局で作成中。北本副幹事長もサポート。
- ・議案に、「若手会員の会費減免・小規模会社向けの賛助会員(支部長発案)」も報告として加える。

4.その他の検討事項

(1)「土と基礎」支部特集号(21年度):提案のとりまとめは末政幹事。

関東支部発足から歩み(3ページ)

研究委員会の成果(2編程度)

工事事例の報告(4編:羽田工事・地下鉄新線)

G活動の紹介(1編)

「研究委員会」、「行政機関と連携」、「群馬の地盤」、「ソイルタワーコンテスト」、etc

(2)「(仮)地盤工学におけるリスクマネジメントに関する事例研究委員会」

岸田副支部長より新規委員会の素案が説明された。

- ・ 委員の公募は支部外も OK とすることを明記する。
- ・ 予算は年度内新規分のために確保した予算（20万円）の半分を充当とする。

(3)群馬県 G の特別予算処置

- ・ 例年、県 G 全体では予算が余るので、群馬県に追加充当しても全体としてオーバーしないと思われるので、要望どおりに追加充当する方向で進める。
- ・ 県 G を担当している太田副支部長に報告する。

以上